

よくある質問

Q 1. 「落としパイプ」は3 cmだが、もっと深い方が良いのではないか？

A 1. イノシシやシカは思った以上に敏感で、深く踏み抜くことはありません。

「わなワイヤー」は10から12 cmの高さで締まるので、十分掛かります。

「落としパイプ」を使わないで、地面を窪ませただけで設置する人もいます。

Q 2. 戻り止め金具を使ってないが、緩むことはないか？

A 2. 「ワイヤーストッパー（蝶ネジ）」をしっかり留めてあれば緩みません。

枝などが挟まって蝶ネジが緩むことがないように、ガムテープで蝶ネジを固定することをお勧めします。

なお、戻り止め金具はロープを傷つけて、切断の原因にもなるので使いません。

Q 3. スプリングの強弱および長さの違いは、なぜあるのか？

A 3. ワイヤーの締め付け強度の違いです。

強度を求めると、どうしてもスプリングは長くなります。しかし「スプリングガイド」に納めるのには腕力（体力）が必要になります。

また、長いと持ち運びや設置場所を選び、扱いが不便です。

それで、短くて強度もそこそこあるスプリングをとの要望に応じて3種類あります。

Q 4. 部品を送ってもらえるか？

修理はできるか？

A 4. 「笠松式わな」は出荷時の商品の保証はいたしますが、お客様が修理された物に関しては製品保証いたしません。したがって修理のために部品を送ることはできかねます。修理を希望される場合は、当社に修理依頼していただければ対応いたしますが、送料や手間を加味すると新品を買うほど費用が掛かってしまいます。

「笠松式わな」の部品は「ワイヤーガイド」以外は市販の物だから、ご自身で修理は十分可能です。「スプリングガード」の塩ビパイプは接着してないのでハンマーなどで軽く叩くと分解できます。

修理される方は、上記内容を承知の上、ご自身の責任範囲内で修理をしてください。